

連結体16の一端に巻輪16'を形成し、他端16''に挿入部材Fの輪4aを連結する。

このようにしたネクタイ止め装置をネクタイNの止め糸Eに装着するときは、巻輪16'に止め糸Eを当てながら、挿入部材Fを引張ると止め糸Eが巻輪16'の中に入り込み嵌脱しなくなる。

また図示はしないが、巻輪16'の部分と挿入部材Fとの連結を、針金やチェーン、紐などにしてもよい。第8図は、他の実施例であって、刺針6の一端6aをピン17で回動自在に支持体18に枢着し、この支持体18に刺針6の先端6'をカバーするカバー体19を設けると共に、支持体18に連結体1の一端を連結し、かつこの連結体1の他端に挿入部材Fを連結するものである。

発明の効果

本発明は以上の如く、ネクタイの裏側の折り目または止め糸に、ネクタイの止め装置を設けるようにしたネクタイの止め装置において、Yシャツの小孔に挿入部材を挿入し、紐で挿入部材を止めるようにしたので外れることもなく装着しやすい。

しかもこの挿入部材に装飾品を設ければ体を動かしたとき、あるいは風が吹いたときなどネクタイが揺れるから、そのときチラリと挿入部材が見えるので隠れたアクセサリとしておしゃれを楽しむこともできる。

さらにネクタイの止め装置がネクタイの裏側に装着されるので、ネクタイの表側には刺傷が生じないのでいつまでも使用することができる。

しかもネクタイの止め装置がネクタイの裏側に装着されるので、ネクタイの色や柄などの模倣と関係なくどんなネクタイの色柄であっても使用することができる。

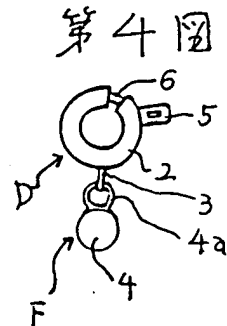
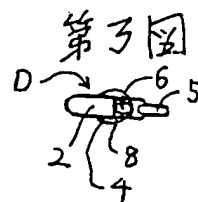
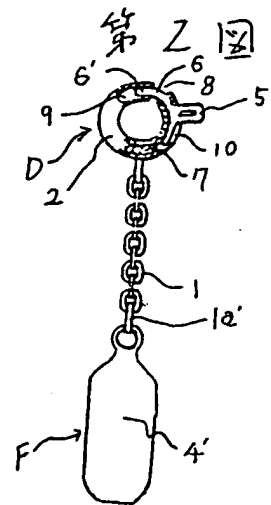
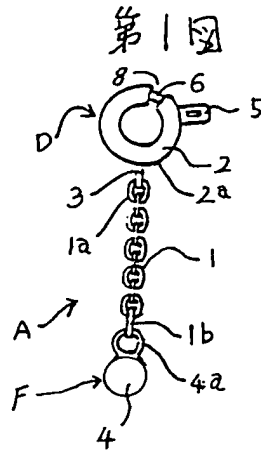
またネクタイの止め装置がネクタイに着脱自在にできるので、ネクタイを解めたときにネクタイの長さが違っても、その都度このネクタイの止め装置の位置を変えることができるなど、実用的に有用であり優れた効果を十分に奏するものである。

4. 図面の簡単な説明

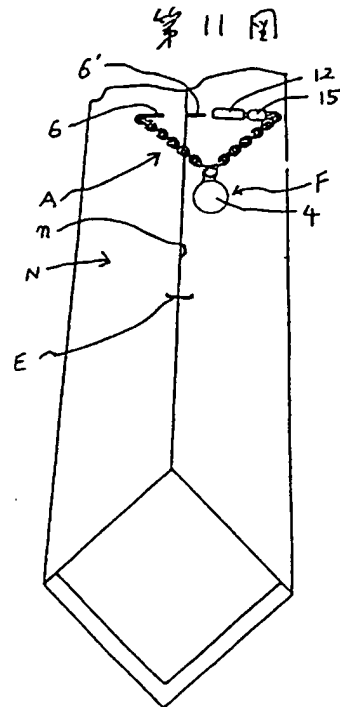
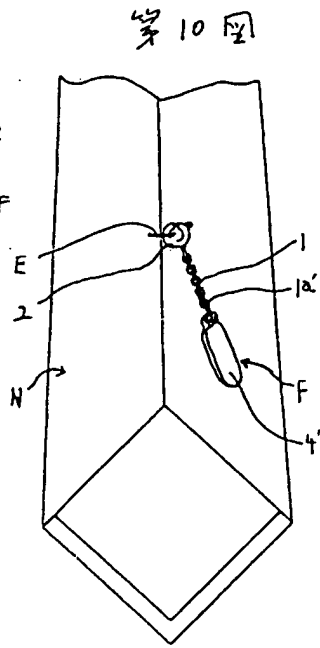
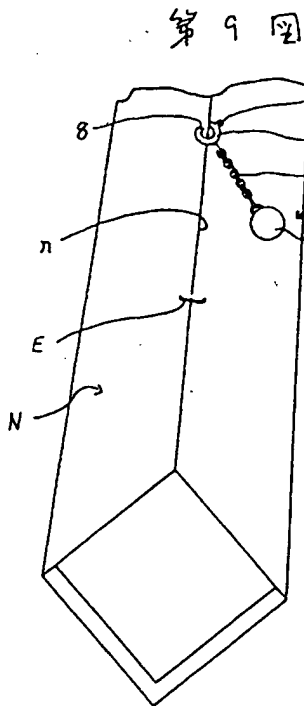
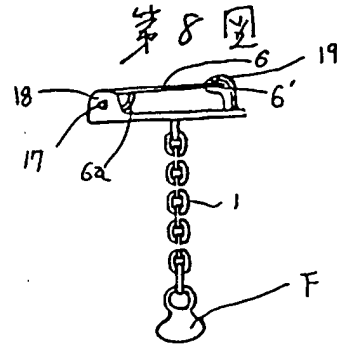
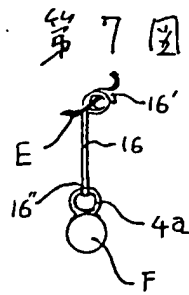
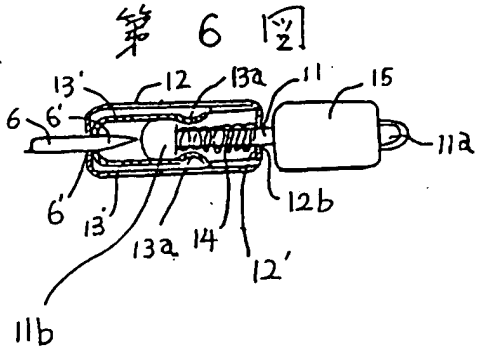
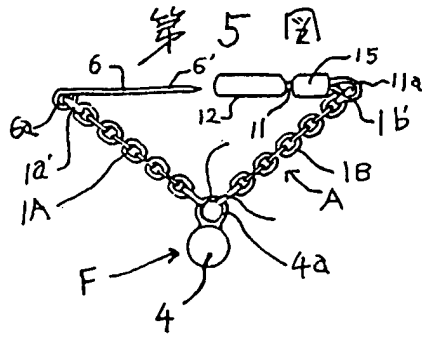
図は本発明の各実施例であって、第1図、第2図および第4図、第5図、第7図、第8図は各種

の正面図で、第3図は第2図の平面図、第6図は第5図の要部の縦断面図、第9図ないし第11図はネクタイの一部を切欠し、本発明を使用した使用例の参考背面図、第12図はYシャツの斜視図を表わすものである。

- | | |
|----------------|---------|
| A…ネクタイの止め装置 | B…釘 |
| D…C形環体 | E…止め糸 |
| F…挿入部材 | |
| N…ネクタイ | n…折り目 |
| 1…連結体 | 2…C形環体 |
| 4…真珠 | 6…刺針 |
| 7, 14…コイルスプリング | |
| 10…案内孔 | 11…解除部材 |
| 12…ケース | 15…摘子 |



特許出願人 株式会社国際知的所有権研究所
代表者 小川 渥 司



第12図

